

礼拝アウトライン 12月15日

1部：心を見抜いて(ルカ 11:14-36)

その人の心と考えによって人生は動くので、サタンは悪霊どもを送り込んで人の心とを考えを掌握して支配する(Ⅱコリント 10:5、ルカ 11:17)。サタンはどのように人の心と考えを支配するのだろうか。

1. 人の真の問題を見ることが出来ないように考えをとらえる。

1) 神様を離れて、罪の中に、サタンに支配され

①生まれながらの問題(エペソ 2:3)

②サタンが考えを虜にして家を建てている

③絶対解決不可能な霊的問題(サタンより強いものない)

2) 悪霊の力を借りて問題解決を(15)

3) 人間自ら解決を試みる(25)

2. 結局、キリストを知らないように考えをとらえる。

1) 人間の可能性(ヒューマニズム)を諦めない

2) 表の問題に執着

3) キリストを拒否、敵対する

4) ヨナのしるしの他には

3. サタンにとらわれた考えの結末

1) 23

2) 31、32

3) 34

信者の自分の中にも、キリストをくらませるサタンのやぐらがあるかを吟味して、考えを虜にしてキリストに服従させる力を祈ろう！

どの問題でも、解決不可能な根本問題(霊的問題)を見る窓口にして、そこから解放されるべきをテーマにして、キリストの絶対必要を告白しよう！Only キリストを改めてサタンのやぐらが砕かれることを体験しよう！

2部：なぜイエス様だけが道なのでしょう。(Ⅰヨハネ 3：8)

1. ほとんどの人が救いと人の行為は別物であることが分かっています。

1) それで、すべての宗教は一緒だと考えています。

2) 形が違っても宗教の目的は、結局善を行うことではないかと

3) なので、自分を磨いて徳を高めることこそ救いの道だと考えられています。

4) しかしそういう意味で、キリスト教は宗教ではなくいのちそのものです。

5) 宗教は人が作ったもので、福音は神様が与えられたものです。

6) 宗教は人が求めていくことであり、福音は神様が訪ねて来られたことです。

7) だから、宗教は人の行いが基準になり、福音は神様の救いを基準にします。

2. 結局宗教との混乱は、救われてない人の状態(滅び)が分かっているからもたらされるものです。

1) 人がまだ救われてない状態を原罪と言います(ローマ 3：10、23)

2) それは、創世記3章に現れていたサタンの手に捕らわれているままの状態を意味します(エペソ 2：2、3)

3) そして、その滅びの状態は恐ろしいものです。

(1) その人の霊はサタンの霊を受けた状態

(2) 魂は呪われています。

(3) それで、自然に偶像崇拜や先祖祭祀を行い、霊媒師や占いに頼りお札やお守りなどを所持し、時には迷信やカルト宗教などに走り、苦しみつつ駄目になります。

(4) その結果、人生に失敗しこの世を離れます。

(5) 精神的な病や、悪霊による病にさいなまれ、肉体も不思議な病を患うようになります。(マタイ 8：16-17)

(6) 最後は地獄に行きます(ルカ 16：1

9-31、黙示録 14：1-9)。

(7) そしてこれは自分の代で終わらず、子孫3代4代まで及びます。(出エジプト 20：4、5)

3. ここから人を救える方は一人しかいません。

1) まず、このサタンに打ち勝てる権威をもつ方であればなりません。

2) そして必ず人のからだをもっていなければなりません(ヨハネ 1：1、14)。

3) しかし、人のように罪があってはけません(ヘブル 4：15、Ⅰペテロ 3：18)

4) つまりアダムの子孫ではいけないということです(処女から産まれる)

5) そして、罪の代価として罪のないからだが必要なければなりません(創世記 2：17)

6) それから、実は神様であった証しとして必ず復活しなければなりません。(Ⅰコリント 15：3-5)

7) このすべての条件に当てはまる方はイエス・キリストだけです。

8) 神様と同じ姿であるイエス様(ピリピ 2：

6-9)だけがサタンを砕きそのしわざを打ち壊すことが出来るし、人を救うことが出来ます。

9) そして、これは現に証明されています。(使徒 16：16-18)

4. それでは救いとは何なのか改めましょう(エペソ 2：1-6)

1) 滅びるしかない罪より解放されたことです。

(1) 原罪は永遠に呪われる罪です(エペソ 2：1)。

(2) 罪科とはその原罪からもたらされた過ちです(エペソ 2：1)。

(3) 先祖の罪とは偶像崇拜の結果、子孫代々にわざわいが及ぶことで(出エジプト 20：4)このすべての罪から解放されました。

2) 今現在も世を支配し働いているサタンの勢力とその運命から自由になることです(エペソ 2：2)。

3) 来世は天国が保障されることです(エペソ 2：6)。

4) 地上にいる間、救いの証拠が現れます(エペソ 2：7)。

1部-ルカ 11:14-36 心を見抜いて

なるほど/人は心と考えによって人生が左右されるので、サタンは人間の真の問題を見ることが出来ないように、それでキリストを知ることが出来ないように人の心と考えをとらえて滅ぼそうとしている。

ならば/信者自分の考えの中にキリストの栄光を暗ませるサタンのやぐらを吟味して、考えを虜にしてキリストに服従させる力が働くことを求めて、サタンに考えがとらわれている現場の人々にキリストの証人として立とう！

2部-Ⅰヨハネ 3:8 なぜイエス様だけが道なのでしょう。

なるほど/救われていない状態(滅びの原罪)がわかっていれば、キリスト教と宗教との混乱に陥らず、人の行いと救いを切り離して、救いはいのちであり、その道はキリストだけであることを告白するようになる。

ならば/なぜ救いの道はキリストだけなのかと自分に問いかけて、原罪を元に、人間の行いと救いを切り離して、救いは何かをしっかりと整理して確信をもち感謝しよう！